

## V2H 機器「EIBS Va-1（アイビス・ブイエーワン）」の受注開始について ～「AI 最適制御機能」によりご家庭のエネルギーの最適な使い方を実現～

2025 年 3 月 3 日  
東京電力ホールディングス株式会社

当社は、ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社の中核企業であるダイヤゼブラ電機株式会社（以下「ダイヤゼブラ電機」）と共同研究した V2H 機器<sup>※1</sup>「EIBS Va-1（アイビス・ブイエーワン）」（[2024 年 3 月 21 日プレスリリース済み](#)）について、本日より受注を開始いたします。

「EIBS Va-1」は、ダイヤゼブラ電機の特許技術である、高効率と小型化を両立する絶縁双方向電力変換技術<sup>※2</sup>（DAB: Dual Active Bridge）を採用しています。パワーコンディショナ機能で最大 6kW の高速充電・放電が可能のほか、停電時には自立運転し EV から 5.5kVA 相当分の電力をご家庭に供給できます。

また、東京電力グループの株式会社エナジーゲートウェイが開発した機能「AI 最適制御」を併せてご利用いただけることから、さまざまな効果が期待できます。

具体的には、AI で家電の使用状況や EV の利用実態を日々学習することに加え、気象情報から太陽光発電（PV）の発電量を予測し、EV の充放電を自動でコントロールします。このため、PV の余剰電力を EV に充電し、ご家庭の需要に合わせて電気をお使いいただけます。さらに、気象警報を基に EV への充電を優先するため、停電など非常時の備えにもつながります。

なお、エネルギーの見える化アプリ「enenowa（エネノワ）」により、各ユニットの稼働状況や電気の使用状況も確認できます。

受注開始に伴い、当社公式ホームページ内に特徴や使用方法をご案内する Web ページを開設し、販売・施工店をご案内しております。

【商品紹介 Web ページ】 <https://www.tepco.co.jp/about/esg/environment/ev/v2h/>

当社は、本商品を通じ、EV の普及促進とカーボンニュートラル社会の推進、レジリエンスの強化に貢献してまいります。

※1 V2H 機器：CHAdcMO 方式を採用した Vehicle to Home（V2H）を指し、EV への充電に加え、EV からご家庭へ電気を供給する機器

※2 絶縁双方向電力変換技術：直流電圧を所定の電圧から別の電圧へ変換し、かつ双方向での電力変換を可能にする技術

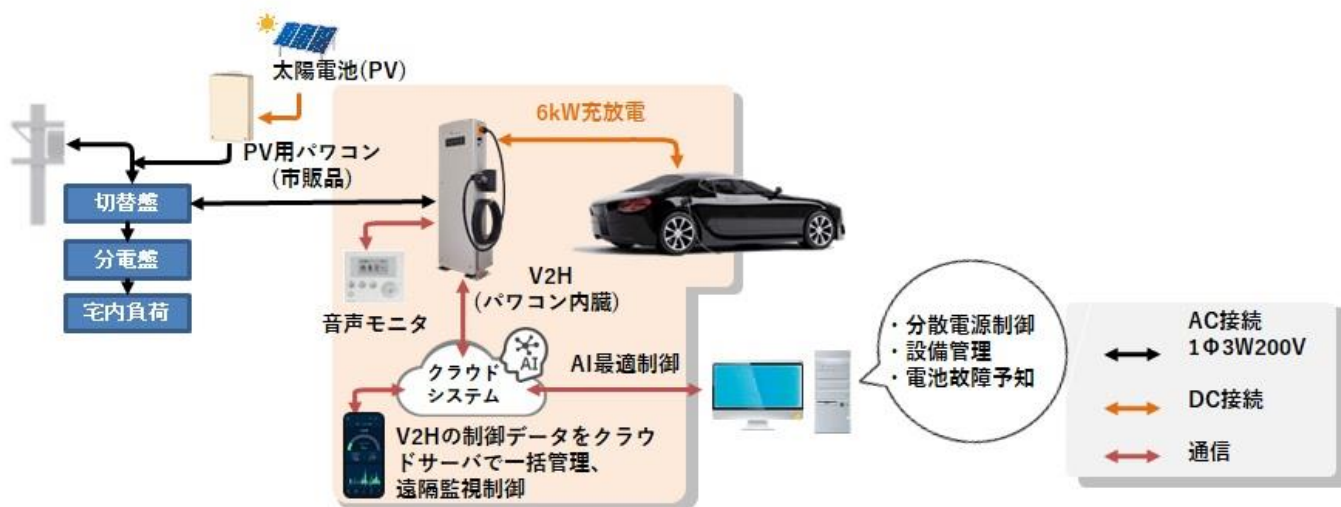
<諸元>

型名:EPJ-S60EV



項目	仕様(参考値)
車両側電圧範囲	DC150~450V
充電電力(車両端)	6.0kW 未満
放電電力(車両端)	6.0kW 未満 (停電時には 5.5kW の電力を供給可能)
電気方式(連系)	単相 3 線式 AC202V 50/60Hz
連系運転定格出力	5.5kW
自立運転出力	5.5kVA
外形寸法	W445 × H1450 × D198mm (D:脚部、配線ボックス含むと 279mm)
本体質量	75kg
ケーブル	7.5m
設置場所	屋内外
使用温度範囲	-20 ~ +45°C (40°C以上は電力抑制有)
冷却方式	自然空冷(内部 FAN あり)
適合規格	CHAdeMO(充放電規格) V2H DC 版 EVPS-002 : 2018 2.1.1 版

<模式図>



家庭のエネルギーをスタイリッシュに管理する見える化アプリ

**enenowa**

<AI最適制御・enenowa(エネノワ) サービス提供元>



株式会社 エナジーゲートウェイ

TEPCO